

「作業安全規範」の活用

今回紹介した他にも、「作業安全規範」は全部で25の項目があります。まずは、規範やチェックシートをダウンロードして自己チェックを行いましょう。実施していない項目については、他の事業者の取組事例なども参考に、新たに取り組むことを検討し、徐々に安全水準を向上させていくことが重要です。

1 個別規範・チェックシート・解説資料をダウンロード、チェックを実施

まずは、「チェックシート」を用いて、セルフチェックを行いましょう。

- 農林水産業・食品産業の作業安全のための規範(個別規範:木材産業)
- 同 事業者向けチェックシート
- 同 事業者向け解説資料

農林水産省 作業安全規範 検索



チェックシートダウンロードはこちら

2 実施していない項目については、新たに取り組むことを検討

個別規範の「解説資料」を読んだり、他の事業者の取組事例などを参考に、今後、実施したいと考える項目を検討します。

- 木材産業における作業安全に係る優良事例集

農林水産省 作業安全 委託事業 検索



ダウンロードはこちら

3 チェックを定例化

時期を決めて個別規範チェックシートでのチェックを行うとともに、必要に応じ、設定した目標の達成状況や、事故の減少状況などもあわせて確認することで、徐々に安全水準を向上させましょう。

事故体感VR映像について

農林水産省・林野庁では、木材産業における事故のうち多くを占める、丸のこ盤×切れ・こすれ事故の疑似体感VRも作成・公開しています。スマホ、VRゴーグルを利用して、簡単に従業員の方の危機意識啓発に活用が可能ですので、ぜひご活用ください。



農林水産省 作業安全 委託事業 検索

KEEP
SAFETY
FIRST.

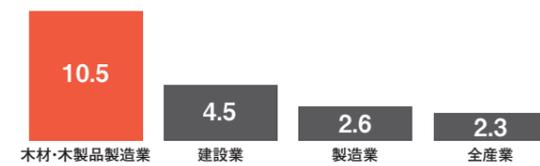
木材産業事業者の皆様へ 「作業安全規範」を活用して 安全対策を見直しましょう



木材産業の災害発生率は、製造業の約4倍

木材産業の災害発生率は、建設業の2倍以上、製造業の約4倍と他産業に比較して高い状況となっています。

業種別死傷年千人率(休業4日以上/2020年)



出所: 厚生労働省「産業別死傷年千人率」

未熟練者の災害が半数以上

被災者の半数以上が経験年数5年未満であり、未熟練者対策が特に重要です。

経験年数別死傷者数(休業4日以上/2019年)



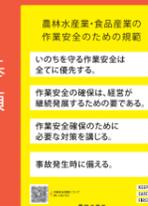
出所: 厚生労働省「労働者死傷病報告」

事故を減らすため、改めて安全対策を見直すことが必要です。このため、農林水産省では、「作業安全規範」を作成しました。

作業安全規範

共通規範

安全の確保に向けた基本的な姿勢などの4項目を定めています。



個別規範

6分野・25項目の安全取組を示しています。個別規範本体のほか、チェックシート、解説資料の3種類があります。



▶▶▶ 次ページ以降で、「個別規範」の取組のポイントを解説しています



人的対応力の向上

作業安全に向けた具体的な目標の設定や研修・教育等を積極的に行いましょう

- ❗ **取組のポイント**
- 作業安全に向けて、目標を設定し、重点的に取り組む対策を決めましょう。
 - 従事者に適切な研修・教育を計画的に実施しましょう。

[目標の設定例]

最終目標 「労働災害 XX 件 削減」

中間目標 「研修受講者数 XX 人」、
「機械の危険個所の点検の実施」
「危険予知活動の実施回数 XX 回」など

[研修用映像]

起きやすい事故である丸のこへの接触事故の研修用映像を配信しています。職場での研修や各自での閲覧も可能です。



① トラブル対応時は必ず機械を停止して行う
農林水産省 作業安全 研修用映像 検索



ルールや手順の遵守

加工機械等の適切な使用方法を徹底し、作業に適した服装・装備を着用しましょう

❗ **取組のポイント**

- 法令、ガイドライン、取扱説明書等を確認し、適正な使用方法や禁止事項を周知・徹底しましょう。
- 回転部に巻き込まれる恐れのある作業では、衣類のたるみや紐類に注意するほか、手袋を着用しないようにしましょう。

[服装・装備チェックポイント例]

- ヘルメットの着用
- 耳栓の着用
- 手袋の着用
- 安全靴着用
- タオルや紐等ははきまう
- 袖や裾の締まった服装



資機材、設備などの安全性確保

無人化機械など安全性の高い資機材の選択やメンテナンスを適切に実施しましょう

❗ **取組のポイント**

- 設備の更新の際は、安全性の高い省人化技術やインターロックなどの導入を検討しましょう。
- 点検等の際は、確実に機械を止めましょう。



日常点検中



製材機械の監視室



安全柵の設置

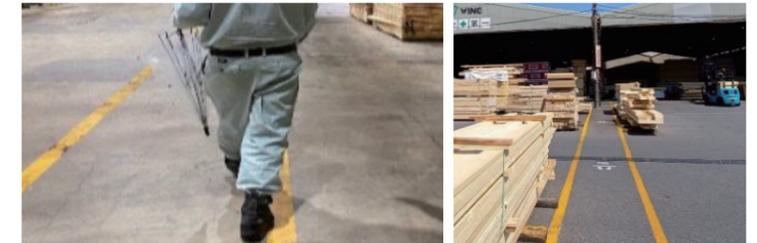


作業環境の改善

作業手順の明文化や危険個所を特定し改善するなど、安全な作業環境を整備しましょう

❗ **取組のポイント**

- 通路や立入禁止区域の境界等を黄色、トラテープ等で明示しましょう。
- 外国人技能実習生を受け入れている場合は、母国語で注意喚起の標識を設置するなど、配慮しましょう。



歩行者通路の明確化及び作業面の清掃



情報分析・活用

軽微な負傷を含む事故事例やヒヤリ・ハット事例を積極的に活用しましょう

❗ **取組のポイント**

- ヒヤリ・ハットや不慮災害も含めて記録し、より綿密な対策検討や、対策の効果検証に活かしましょう。
- ヒヤリ・ハットをスマホから入力できるなど、気軽に報告できる仕組みをつくりましょう。

1.概要			
いつ	月	日	午前・午後 時頃
どこで			何をしたとき
どうなった			
2.問題のあった点			
作業環境 有・無 (自由記入)	軌道・機器 有・無 (自由記入)	作業方法 有・無 (自由記入)	自身の状況 有・無 (自由記入)
3.要望・対策			
こうするとよい、こうして欲しい			



ヒヤリ・ハットが発生した場合に、全従業員から提出を求めている事例

スマホからの日報入力(日報入力時にヒヤリ・ハットを入力できるようにした事例)



事故発生時の備え

万が一事故が発生した場合の対応の手順をあらかじめ明文化しておきましょう

❗ **取組のポイント**

- 事故が発生した場合の対応手順について、事前に明文化し周知しておくことが重要です。
- 再発防止策の検討についてもしっかりと行いましょう。

